

私は、八月の五日と六日に広島原爆ドームを見学しに行きました。広島に着き初めて原爆ドームを見たときまわりには人が沢山いて、その中には外国から来た人もいました。

私は友達と一緒にドームのまわりを歩いていたら、お坊さんたちがすすわって、お経などを唱えていました。次に白いテントがあり中に入ると爆弾のせいになった病気の症状の写真や、原爆が落ちて亡くなった子供のことが書かれており、まだこんなに小さいのに可哀想だと思いました。なかには運がよく命が助かった人もいたそうです。次に千羽鶴をつるす場所に行きました。そこにも沢山の人が願いを込めて作った鶴が沢山つるしてあり驚きました。次に広島平和記念資料館へ向かいましたが資料館の前には長い行列ができていて、入るのに長時間かかりました。やっとの思いで入ったらそこには原爆ドームを再現したものがありません。レンガはザラザラでとなりには遺髪が展示されていました。他にも放射線などでボロボロになったレンガやビンなどにもふれました。少し怖かったです。

次の日は平和式典に参加しました。最初に一分間の黙とうをしました。私のすわった席は後ろの方だったので安倍総理などの立派な方は見えませんでした。声は聞くことはできませんでした。他にも色々なスピーチをしておりとても感動しました。平和式典は約一時間くらいで終了しホテルに荷物を取りに帰る時に世界百か国以上から来ているえらい人と思われる人たちとすれちがいました。今回の経験から私は沢山のことを知りました。原爆が落とされて沢山の人が亡くなった犠牲者の気持ちや今が平和でいられる理由もちゃんと知ることが大切だと思いました。この広島平和式典に参加でき、よかったです。

僕は、この長久手市中学生広島平和体験学習事業に行って、本当に多くの事を学びました。

平和記念資料館では、焼けた三輪車や弁当箱などを見て、原爆の恐ろしさを知りました。それと同時に、平和である事はとても大切だと分かりました。そして日本が平和でもありがたいと思いました。

平和記念式典では、広島市長と広島県知事の言葉がとても心に響きました。そして広島市民の皆さんや、広島県民の皆さんがとても平和への思いが強いと知りました。

僕は、直接戦争を経験していません。ですが戦争の恐ろしさを戦争を体験された方から伝えしてもらい、そして後世に伝えていく事はできます。僕は今回の事を生かして原爆の恐ろしさや平和の大切さを後の世代に伝えていきたいです。

